

◆第1部 絵画の部◆

審査員 くらかわ 黒川 あきお 彰夫

【 総 評 】

例年に比べると作品数が少ない様ですが、出品されている作品には真面目に取り組んでいるものが多く、好感が持てました。

自分の描きたい世界観をしっかりと持って自由に描いて下さい。色も形ももっと独自のものを展開して下さい。

市展賞

とり と こうじょう
＜鳥が飛ぶ工場＞

やまのうち じゅんいち
山之内 順一



構図がしっかりしています。
グリーン系でまとめそれぞれの重厚感が出ています。

ただ全体に飛んでいる茶色の点が気になるになります。タンクのサビが飛んでいる様で雰囲気を壊してしまいそうです。

野洲市議会議長賞

＜アッシジ（イタリア）＞ ひが しんさぶろう
比嘉 信三郎



石壁の表現が良く描けています。

全体に淡い色調ですが、石壁の重厚感が描けています。前景と遠景との描き分けが出来ていて、気持ちの良い作品になりました。

野洲ライオンズクラブ賞

しょうろう しらいし ぎいち
＜鐘楼＞ 白石 儀一



木組の描き方が非常に良く出来ています。モノトーンで描きながらも木の質感を充分感じる作品になりました。欲を云えば左上の色の差し込む部分の表現に一工夫が必要です。

光が汚れの様に見えて画面におさまりません。

中日新聞社賞

もも のだ としえ
<桃> 野田 俊江



水彩の特長を生かした塗り方に全体に美しい色相の作品になりました。薄塗りでありながら絵に深味と重さを感じさせいい作品になりました。バックの机との境目を明るくして空間を感じさせた所が成功しています。

野洲青年会議所賞

じがぞう いのうえ しゅうり
<自画像> 井上 修利



人物を良く観察している作品です。
人物とバックの接する部分にもう少し神経を使って描くと、もっと人物が立体的に見え、人物の向こう側を感じられる様になります。

朝日新聞社賞

れいねん しあわ たなか えつこ
<例年どおりの幸せ> 田中 悦子



構成のおもしろさが感じられる作品です。対線の描き方もしっかりしています。風神・雷神を幻想的に描き込み、現実区間と虚空間を描き分け画面に夢を感じます。

◆第2部 彫塑の部◆

審査員 よしい ひろこ
吉居 寛子

【 総 評 】

今回、市展の日程が冬期になったこともあり、出品点数が減ってしまったことは残念ですが、無鑑査の方の出品もあり大変喜んでおります。

現在社会において、日常に忙殺され、何かに向かう時間、夢中になれる時間がつくれないのが現状かもしれませんが、素の自分になれる時間を日常の中に作っていただけたらと思います。

市展賞

らせん
<螺旋>

やまだ たくや
山田 拓也



3本の円柱が絡み合いながら上昇しているような陶による抽象作品です。この作品は、ある一定のひも状の粘土の積み上げによる労作で、粘土による制約もある中、試行錯誤されながら、3つの円柱の構成を考えられた秀作です。

より有機的な絡み、動きを追求すべく、自然の生命あふれる草木など観察されると得られるものがあるかと思えます。

今後が大変楽しみです。

◆第3部 工芸の部◆

審査員 ひろた ちえ
廣田 千恵

【 総 評 】

昨年と比べて作品点数は少なくなりましたが、皆さん大きさにも意識していただき、工夫もあり良い作品が揃いました。

市展賞

てんし ゆうわく パート2
<天使の誘惑 part II>

ふじもと しんや
藤本 信也

セピア色の写真のように表現された作品で、少女の服の模様が光をきれいに通すよう効果的に切り抜かれ秀作です。
独自の素材、技法がすばらしいです。



野洲市文化協会長賞

はる かせ みやがわ ゆきお
<春の風> 宮川 行雄



ふっくらとした造形に編み込まれた粘土の模様、色合いがほど良く仕上げられていて良いと思いました。

教育長賞

よ あ まえ おおまち よしひろ
<夜明け前> 大町 佳宏



粘土をつけて大胆に削った作品で、釉薬の色の調子、表現も良いと思います。

NHK大津放送局賞

えり
<衿>

あしだ かずよ
蘆田 和代



大きさがあって、焼いた後の長石が美しく模様になっていると思いました。

読売新聞社賞

<ひまわり>

いぬかい くみこ
犬養 久美子



無垢の木を高さの変化をつけて切り出した作品で、ひまわりの花のいろいろな表情を感じることができ良いと思いました。

◆第4部 書の部◆

審査員 ごうど 神戸 まさこ 雅子

【 総 評 】

第20回という歴史を重ねられた美術展覧会の審査をさせていただき、大変光栄に存じます。高校生の作品も8品出品され、将来に向けての明るい希望を感じます。永年書を愛し続けてこられた方の優れた技術や、高校生の方の作品に取り組む一生懸命な姿に感銘を受ける展覧会となりました事、大変嬉しく存じます。

今回、会場が変更になったにも関わらずご出品くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

市展賞

かそしゅう
＜過蘇州＞ はが 芳賀 ゆうぎん 優吟



確かな筆遣いで最後まで書き切り見事です。墨を付けた位置が隣どうしにならないよう工夫されていて、文字の大小の変化もあり、3行が喧嘩することなく収まっています。

行間の白もスッキリとしてきれいです。

野洲市商工会長賞

かんぺき
＜完璧＞ しらい 白井 ゆきこ 祐紀子



筆の毛先を思い切り開かせ、たっぷりの墨量で書き切っておられ見事です。

規格最大のサイズに体当たりで書かれ気迫に満ちた作品となっています。書き手の思いが紙面に溢れていて、見る者を圧倒します。

産経新聞社賞

しんこきんわかしゅう
＜新古今和歌集＞ すぎた 杉田 かおる 薫



流れるような筆遣いで終始一貫ためらうことなく書き進めておられます。字形の変化・文字の大小等細部にまで配慮されていて、日頃の修練が窺える秀作です。

◆第5部 写真の部◆

審査員 しみず いさを

【 総 評 】

今回は作品の数も減り少し淋しかったです。インパクトのある作品も少なかったように感じました。

しかし上位作品はそれなりに撮影技術、プリント仕上げのすぐれた作品だったと思います。

デジタル技術の進歩した昨今ですがレタッチにたよらず、まず撮影時にしっかり写しておきたいものです。

市展賞

しっくいったい
<疾駆一体>

ひろおか のぼる
広岡 昇



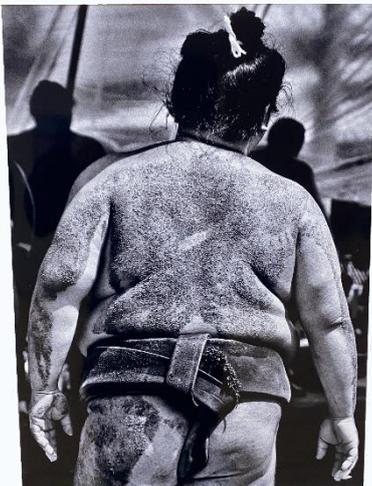
流鎔馬を流し撮りというテクニックを使い上手に表現できています。シャッター速度を遅くしてカメラを振り背景を流し、馬と人物を写し止めています。

撮影技術のすぐれた秀作です。

野洲市教育会長賞

あさげいこ
<朝稽古>

みやた こ
宮田 マリ子



背中に砂をたくさん付けた力士のうしろ姿です。

力士に光が当たり背景は暗く落ちすっきり見えます。

彼の人生を思わせる作品です。モノクロ表現が雰囲気盛り上げています。

野洲ロータリークラブ賞

あんそくぼきつ
<安息菩薩>

ふじわら あつし
藤原 厚士



妙齢の女性がお地蔵さんを背にたたずんでいます。うしろにある手押し車を押して来たのでしょうか？

まわりを少し暗く落としたモノクロプリント仕上げも上手です。

少し心象的な表現が素晴らしいです。

BBC びわ湖放送賞

＜スクランブル＞

のぐち やすこ
野口 泰子



路面電車が走る交差点での作品です。狙いと着眼点のおもしろい作品です。

もう少し画角の変化があっても良かったかもしれません。

京都新聞社賞

＜六の視線＞

たなか やすお
田中 康雄



白と黒を意識した作品です。色のバランスが絶妙です。ネコたちの表情も良く今回の作品の中でインパクトは一番だったと思います。

毎日新聞社賞

ふっこうおうえん
＜復興応援＞

よしむら ひでみつ
吉村 英光

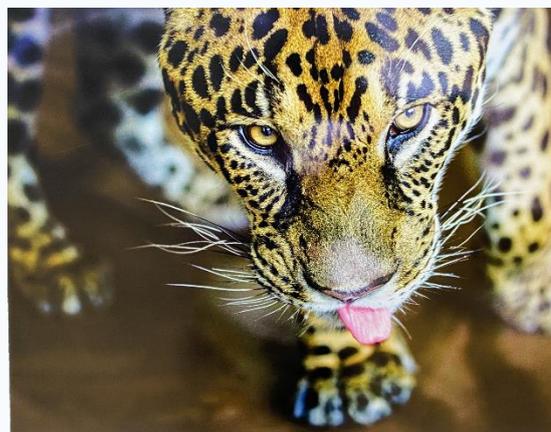


カラフルなよさこい祭りの作品です。子供たちの動作、表情も良く楽しい一時(ひととき)が伺えます。誰が見ても和めるやさしさが見て取れます。

滋賀県美術協会賞

＜いただきます＞

はやし ひさお
林 久雄



するどい目つきのヒョウの作品です。被写界深度を浅くしてヒョウの目にピンポイントを合わせ猛獣のするどさを表現しています。ペロッと出した舌に少し愛嬌も感じます。